

## これまでの主な意見等

意見等（要点）	対応する市の考え
(ア) 津波避難施設の避難床の高さは、限りなく10mに。	建築条件（高さ・日陰・容積率等）及び避難者数を含めて検討します。
(イ) 中間層も、多少の上方に。	(ア)と合わせて検討します。
(ウ) 階段・スロープ共に、道路から直ぐに入れるように変更してください。	安全性とスロープ・階段・避難床の取付部等を重視して検討します。
(エ) 鍵は、緊急時には無くても入れるように。フェンスが階段スロープの邪魔にならないように、無くてもよい。	鍵は誰でも壊して（災害時）入れるように考えています。フェンスについては、平常時の保安対策のため設置が必要と考えています。
(オ) 中間層にも床を設置してほしい。	(ア)と合わせて検討します。
(カ) 地面部分は、今後、会館等建設することが可能なように考慮されたい。	当該用地において集会施設等の建設を考えていません。
(キ) 日除け・雨よけに配慮願いたい。	(ア)と合わせて検討します。
(ク) 簡易トイレは3日間の対応は可能か。	備蓄については、全市的な避難施設との整合性を踏まえ、他の避難施設の状況と合わせて検討します。
(ケ) 想定津波の最大高さ11.5mが、基準水位の3.4mになることへの、住民が納得できる十分な説明。県からの説明でも可。	基準水位を公表した神奈川県からの説明、及び最新の専門的知見を有する学識経験者の意見等を参考に、地元住民に丁寧に説明します。
(コ) 早めの完成を願います。	この地区における津波避難対策を喫緊の課題と捉え、早期の完成に向けて施設整備を進めます。

以上